



おかむら通信 第124号

平成27年8月



◎ごあいさつ

みなさま、本当にあきれるほど、見事な暑さが続いています。体調はすぐれず、気力も薄れ始める、今日この頃です。というのはまだ早いですね。

わずかでも 本当のことをみつめ、歩いていきましょう。病気にも負けずにね。

今月のことば

あきらめるな、あきらめなければ かなりの確率で 夢は かなうよ。

院長



●院長より

① マインドコントロールされてませんか？

世の中には、いろいろな情報が流されています。自ら考えて 取捨選択しないと、いつの間にか、自分の考え方をえられてしまいますよ。

② アメリカの統計

外来で、医者がいくら一生懸命、説明しても、患者さんが理解するのは20から30%だそうです。一番 厄介なのは、医師が患者の時だそうです。10%だそうですよ。

③ 薬よりも運動がだいじですよ、

日常でいろいろお話をしますが、どんな病気もご自分で行う自己管理が一番大切で、どんな形でもいいですので、じっとしていないで、何らかの運動をしてください。勿論、ジムでもいいですし カーなにがしでもいいですよ。

④ 微量の薬物の効果

時々、診察室で お話のついでに 微量の、こんな量で効くのかしら、というような薬をご説明してお出しする時があります。少量ですからふくさようも少なくとっても効果があるのです。不思議でしょう？ 理由は内緒です。



○患者さんからの質問

i ペインクリニックってなんですか？

私は、開業する前から市内の病院で治療を行ってきていました。範囲はとても広いので、全身を診る臨床力を持っていることが必要です。そのうえで、整形外科などでの痛みの治療等は違う技術が必要な領域です。おもに麻酔科で習得するものです。いちばん、めだって効果的なのは、星状神経節ブロック・胸部、腰部硬膜外神経ブロック・坐骨神経ブロックなどです。

ii 皮膚科で、一生、痛みが続く病気であるといわれた。

しかしどうすればいいか、教えてくれなかった。インターネットで先生のところがこの病気の治療で、神経ブロックをやっていると、知って来ました。しかし、

○もっと早く来れば、帯状疱疹後神経痛にならずにすんだのに。





●患者さんからの手紙（意見箱より）



待合室で、テレビの音が、うるさい。

対策：そうですね。待合室でお待ちの人数で調節してはいるのですが、できない時も多く、申し訳ありません。患者さんは、だれでも、人にはわかりえない病気をおもちです。極力、音は小さく致しますが、聞こえなくて大きくされる方もいらっしゃいます。その時は仰って下さい。

◎ふたたび機械の話

「低線量CT、Supra Grande」と言います。

被ばく線量は既存のものより50%から80%低減できます。しかも64列TSHCT (thin slice herical CT)の高機能で、一人の患者さんに何千という画像情報を作ってしまう。したがって読影する方も大変なのです。ただ良いことがあります。同じCT スキャンを使用しても、大病院で検査するより当院の方が保険請求は安くなっています。

バーチャル内視鏡（大腸）

準備中です。TCF（大腸内視鏡）よりも、より安全で、苦痛も少なく、より確実な画像を作れるようになりました。

○7月の院長の活動紹介

7/（火）新松戸中央病院中村副院長 来院、医療連携しましょう、とのこと。

8/（水）Hの遠藤氏 PACS 画像の改良・新CT画像データ処理について

13/（月）当院カンファレンス

15/（水）Hの遠藤氏 医療雑誌投稿の依頼について

16/（木）CT/XP 診断装置 点検 終日

18/（土）東葛地区医師会医療協議会 合同情報交換会及び勉強会のようなもの、

21/（月）医師会定例理事会 衛生会館、

30/（木）千葉県医師会医療情報システム委員会 「マイナンバー」について



三☆☆ 皆さん、この夏はどこかお出かけされませんか？

夏が大の苦手なお客様ですが、今年は、前職の土日祝日出勤から開放され、お祭り、花火...と楽しんでいて、夏が少し好きになりそうです。秋に向けて、お勧めのお祭りがあったら、ぜひ教えてください。

残暑も長そうですが、皆さんお体お大事にお過ごし下さい。

受け さいくさ
七禾重

